

へき地・小規模校教育の充実・発展をめざして

宮崎県へき地・小規模校研究連盟
会長 前田 佳郎
(美郷町立美郷北義務教育学校 校長)

宮崎県へき地・小規模校研究連盟は、本県へき地教育の振興、複式指導の充実・発展を図ることを目的として活動しており、県内のへき地校及び複式学級を有する学校（現在75校）が加盟しています。本連盟では県内を10地区に分けて「支部」を編成しており、各支部においてへき地・小規模校の教育活動充実のために授業研究や情報交換等を行っています。

昭和34年より長きに渡ってへき地教育の研究活動に取り組んできた本連盟ですが、令和3年度は「全国へき地・小規模校研究大会 宮崎大会」の開催という大きな節目を迎えました。この宮崎大会では全国へき地教育研究連盟が示した第9次長期5か年計画（研究主題「ふるさとに夢や誇りをもって未来の創り手となる子どもの育成」副題「～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実を目指して～」）に基づいた研究発表と協議が行われ、全国に発信した本県の実践に対して各所より賞賛の言葉をいただくことができました。

ところで、全国大会の開催にあたっては開催の数年前から支部長会が中心となって計画的に準備を進めてこられました。特に今回は開催の直前まで新型コロナウイルス感染拡大に伴う課題が生じ、ひとつひとつクリアしながらの前進であったと思います。大会誌を読み返しながら、大会の運営にご尽力された先生方のご苦勞を推察するとともに、各支部、各校の確かな連携が大会の成功を導いたことを確信した次第です。このすばらしい「絆」を財産としながら、本県のへき地・小規模校の特性を踏まえた研究が共に深められるよう、今年度も会員の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと考えます。

最後になりましたが、本連盟の事業推進に対して、日頃からご支援いただいております関係機関並びに関係者の皆様に深く感謝し、あいさつとさせていただきます。